

# 目黒川で泳ぎ隊

～子供たちに安全で泳げるほどきれいな遊び場を提供したい！～

現在、品川区には立会川と目黒川の2本の川が流れています。2本とも下水が多く流れている事が多く知られています。その水質の現状、これらの水質浄化に向けての活動を「都、区、民」を含め、快適な水辺の暮らしが出来ないかを考えています。

人間が汚した水は、人間の力で綺麗にできないでしょうか？

品川区には東品川海上公園というものが2007年3月31日に開園され現在、旧東海道品川宿まちづくり協議会が管理する浮き桟橋が設置されている、水に触れる事が出来る希少な場所があります。

「目黒川で泳ぎ隊」では、安全基準の水質に変えることにより、生活する方の影響はもちろん生物への影響も考えています。生物が生活できるほど綺麗な川へ変化させることにより、水辺で暮らしている意識が高まっていくと思います。

現在、東品川、東大井、勝島に住んでいる子供たちは海沿いに住んでいる事も知らない子供たちがいます。公園には数少ない子供たちがサッカー禁止、ボール禁止、バット禁止、芝生侵入禁止の公園で何とか遊んでいます。習い事の主なものでは野球、サッカー、ピアノ、ダンス、学習塾と水辺に携わる事が含まれていない事が不思議に思います。

「目黒川で泳ぎ隊」では、安全な知識の下、子どもたちに水と触れ合う「水育」を意識して、まず大人が安全な遊び場を用意してあげようと考えています。そして子供たちが水に触れても大丈夫な環境作り、シーカヤック教室や水辺での生物体験教育等につなげられればと考えています。親から、汚い、危ないと言われ、いつの日か目を向けられなくなってしまった品川の由緒ある目黒川にもう一度、目を向け地域の人たちの憩いの場所として生まれ変わる校庭を地域の人と専門家の力を借りて進めて行けたらと思います。

目黒川で泳ぎ隊 隊長 大竹 幸義  
副隊長 原 一宏